

しなの鉄道利用促進ワーキンググループの概要

1. 目的・背景

しなの鉄道を取り巻くこれからの20年を考えると、沿線の少子高齢化や生産年齢人口の減少に伴い、鉄道利用者の大幅な減少が見込まれる。地域住民の生活に欠かせない交通手段として、また、県内をはじめ全国とつながる交通網の一部として地域を訪れる観光客の移動手段でもあり、地域経済の維持発展に欠かせない社会インフラとしてしなの鉄道を安定して存続させるために、鉄道事業者はもとより、行政、関係団体、沿線の企業、地域住民がそれぞれ主体的に利用促進の取組を進め、より一層連携することが必要である。

これまでの20年を振り返ると、とりわけ通勤定期利用者については、事業所数、従業者数の減少を上回って減少していることから、その原因及び課題を把握するため、調査・分析を行い、鉄道利用促進に向けた施策を検討する。

2. 構成団体

「しなの鉄道活性化協議会」及び「北しなの線運営協議会」に参加する県、市町、商工関係団体及びしなの鉄道の実務担当者で構成する。

3. 調査・検討の進め方

- | | |
|-----------------|--|
| (1) 調査内容・方法の決定 | |
| (2) 対象事業所の抽出・選定 | 沿線市町、沿線商工団体が選定した事業所を対象に行う |
| (3) 調査実施 | 調査は各市町にて取りまとめ、書面にて提出する |
| (4) 調査結果分析 | 分析結果は内容別に区分し、具体的な取り組み事項、実施時期など計画を策定する。 |
| (5) 利用促進策の検討 | |

4. 全体スケジュール

平成30年2月	第2回ワーキング	(1)、(2)
3月	平成29年度第3回しなの鉄道活性化協議会	開催
4月	第3回ワーキング	(1)、(2) ※
5～6月	調査実施	
6月末	調査実施後、報告書の提出	(3)
8月末	第4回ワーキング	(4)、(5)

以上

別表（構成団体）

区 分		構成団体	所 属	備 考
行政 機 関	しなの 鉄道 活 性 化 協 議 会	長 野 市	都 市 整 備 部 交 通 政 策 課	
		上 田 市	都 市 建 設 部 管 理 課 交 通 政 策 係	
		小 諸 市	建 設 部 都 市 計 画 課	
		佐 久 市	建 設 部 道 路 建 設 課	
		千 曲 市	市 民 環 境 部 生 活 安 全 課	
		東 御 市	産 業 経 済 部 商 工 観 光 課	
		軽 井 沢 町	住 民 課 交 通 政 策 係	
		御 代 田 町	企 画 財 政 課	
		坂 城 町	建 設 課 都 市 ・ 公 園 係	
		長 野 県	企 画 振 興 部 交 通 政 策 課	
	北しなの 線 運 営 協 議 会	飯 綱 町	企 画 課	
		信 濃 町	産 業 観 光 課 商 工 観 光 ・ 癒 しの 森 係	
		妙 高 市	企 画 政 策 課 未 来 プ ロ ジ ェ ク ト グ ル ー プ	
		飯 山 市	総 務 部 企 画 財 政 課	
	商 工 団 体	長 野 商 工 会 議 所		
長 野 商 工 会 議 所 篠 ノ 井 支 部				
上 田 商 工 会 議 所		振 興 課		
小 諸 商 工 会 議 所				
佐 久 商 工 会 議 所		総 務 課		
千 曲 商 工 会 議 所		振 興 課		
軽 井 沢 町 商 工 会				
御 代 田 町 商 工 会				
東 御 市 商 工 会				
坂 城 町 商 工 会				
事 業 者 (事 務 局)	し なの 鉄 道 (株)	経 営 企 画 課		